

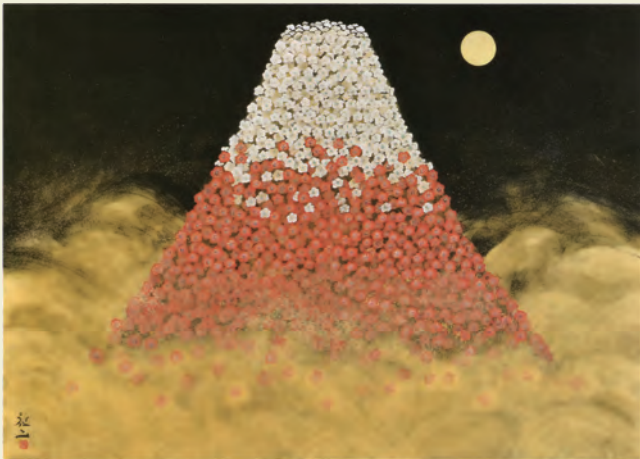


亀山全吉《ブルースカイ》昭和 油彩・カンヴァス

尾道市立美術館コレクション展 新たな作品と共に

令和6年(2024) 11月23日(土) ~ 令和7年(2025) 1月12日(日)

新収蔵作品



平松礼二《日本の祈り・花は咲く》令和2年(2020) 岩絵具、箔・麻紙

休館日 : 月曜日、年末年始(12/29~1/3)

開館時間 : 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料 : 一般 310円、学生 210円、中学生以下無料
※ 70歳以上・各種手帳(マイロID可)をお持ちの方は、
証明できるものを提示により無料。
団体(20名以上)[各50円引]

 尾道市立美術館
ONOMICHI CITY MUSEUM OF ART

〒722-0032 尾道市西土堂町17-19 千光寺公園内 Tel.0848-23-2281

COCORONOMICHI

*COCORONOMICHIとは、一人ひとりが尾道市への愛と誇りを抱くことを目的とした「シビックプライド」キャッチフレーズです。



中村琢二《尾道水道の印象》昭和53年(1978) 油彩・カンヴァス

企画展「尾道市立美術館コレクション展—新たな作品と共に」を開催します。

本館のコレクションは、昭和55年(1980)の開館に始まり、以来、尾道市名誉市民の洋画家・小林和作の作品を中心に形成されてきました。この小林和作を核に、親交のあった日本画家・森谷南人子など尾道ゆかりの作家で構成されています。

今年度、現代日本画壇を代表する画家のひとりであり、絵のまち尾道四季展審査員を長年にわたり務められている平松礼二氏より作品寄贈を受けました。この秋には、小林和作の資料的価値も高い作品の数々の寄贈もあり、今年に入り新たな所蔵品となった作品の数々を初公開いたします。その他、小林和作、森谷南人子など尾道を代表する作家の優品と尾道水道を描いた風景画を展示すると共に、尾道ゆかりの作家と作品の数々をご紹介します。

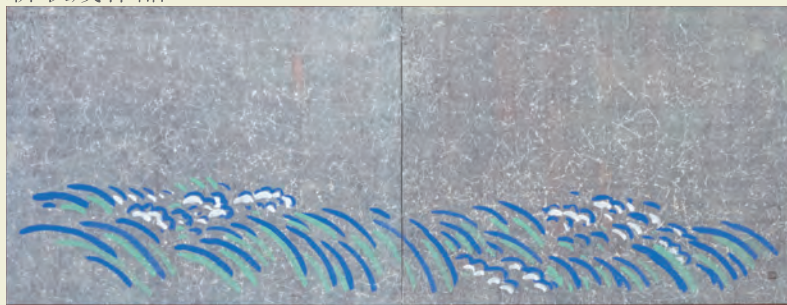


森谷南人子《桃花処々》昭和15年(1940) 紙本着色



林寅山《尾道浦絵屏風》江戸時代後期 紙本着色・屏風(六曲一隻)

新収蔵作品



小林和作《青海波》昭和 紙本着色・屏風(二曲一隻)



小林和作《海(佐田岬)》昭和41年(1966) 油彩・カンヴァス

【協賛事業】

第18回平山郁夫美術館賞絵画コンクール 作品展示
 会期：令和6年(2024) 12月18日(水)
 ~令和7年(2025) 1月12日(日)
 会場：尾道市立美術館 2Fロビー ※要・本展観覧料

アクセス

【公共交通機関】

◎ JR山陽本線「尾道駅」から東行きバス(①番のりば)で「長江口」下車、千光寺山ドライブウェイで千光寺公園へ。

◎ JR山陽本線「尾道駅」/JR山陽新幹線「新尾道駅」から、タクシーで約15分。
 ※ 美術館最寄り「千光寺公園」行きバスは便数が少ないため、ご注意ください。

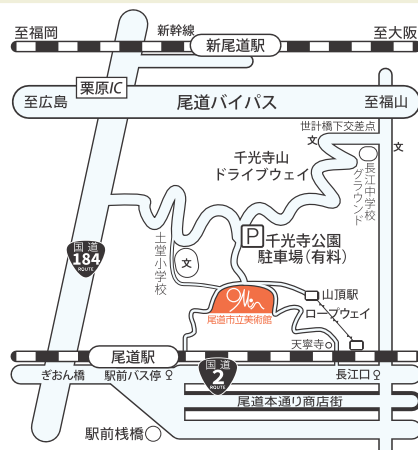
【自動車】

◎ 山陽自動車道・尾道ICから約20分、福山西ICから約15分
 ※ 千光寺山ドライブウェイ経由で「千光寺公園駐車場(有料)」ご利用の場合、入館時に駐車券の提示で1名限り100円割引。

〒722-0032
 広島県尾道市西土堂町17-19
 千光寺公園内
 Tel. 0848-23-2281

アソビュー! 電子チケット

スマートフォンで買える
 オンラインチケットも販売
 ▶ しています。



【ご来館のお客様へ】

会期やイベントの変更等をさせていただく場合があります。また、状況により感染拡大防止対策のご協力をお願いすることがあります。
 ご来館の際には美術館公式ホームページ等で最新情報をご確認ください。

<https://www.onomichi-museum.jp/>

尾道市立美術館

